

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

タイトル 「次世代を担う子供たちへの食農教育」の取り組み

JA名 土佐あき（高知県）

1 動機 (経緯)	<p> 少子高齢化が進み人口減少により、野菜の消費も確実に減っていくことが懸念されていた。次世代を担う子供たちを対象とし、農家とのふれあい体験から「農業の役割」や「食の安全・安心」学び、新鮮な野菜のおいしさにふれ、ふるさとを愛する心を育てることを目的とし、食農教育を進めてきた。また、この活動を行うことにより、JA 土佐あきのファンづくり、さらには将来の担い手確保にもつなげる。 </p> <p> JA 土佐あき「やっぱり農！いきいきちゃぐりん塾」 H17～H26 年度（参加人数 369 名） </p>
2 概要	<p> 第 1 回～8 回程度のカリキュラムを実施し、ちゃぐりん畑での種まきに始まり、JA 土佐あき管内の農家に協力してもらい、田植え・稲刈り、収穫体験（ナス・ユズ・茶・果樹など）、環境保全型農業の出前授業、餅つき大会やフラワーアレンジメント教室を実施している。 </p> <p> 主催：JA 土佐あき 協賛：JA 土佐あき青壮年部，JA 土佐あき女性部 後援：JA 高知中央会，JA バンク，（一社）家の光協会 </p>
3 成果 (効果)	<p> JA 管内で栽培されている野菜，自らが種や苗から植えた野菜を収穫し，食することで農業への理解が深められている。 </p> <p> JA の目指す環境保全型農業への取り組みを自ら野菜を栽培している農家にわかりやすく紹介して頂き，非農家の子供はもちろん，農家の子供たちも改めて農業への興味や関心を持つきっかけとなっている為，将来の担い手づくりにつながっていると考える。 </p>
4 今後の 予定（課題）	<p> 農業の素晴らしさを感じてもらえるよう，運営スタッフで反省検討を行いながら内容の充実を図らなくてはならない。また，生産者の話を聞いてもらい，将来農業がやってみたいという興味を持ってもらう取り組みも必要である。 </p>